

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 05-193231

(43)Date of publication of application : 03.08.1993

(51)Int.Cl.

B41J 29/38

G06F 3/12

G06K 17/00

(21)Application number : 04-007437

(71)Applicant : CANON INC

(22)Date of filing : 20.01.1992

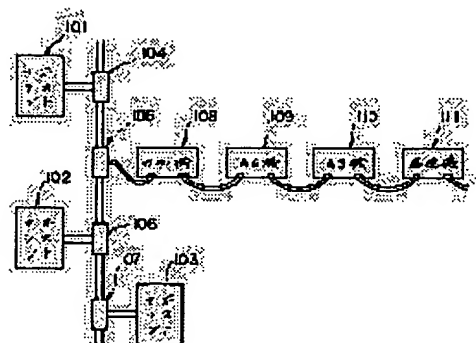
(72)Inventor : IDE HIROYASU

(54) PRINTING SYSTEM

(57)Abstract:

PURPOSE: To use many kinds of printing apparatuses only by adding a simple function by providing an output means outputting document data judged not to ought to execute printing itself to the outside from an interface means.

CONSTITUTION: Respective printing apparatuses receive the document data such as a character code or the like from host devices being host computers 101, 102, 103 from one of a plurality of interface connectors performing the giving and receiving of data with an external device through interface networks 104, 105, 106, 107 and judge the received document data to classify the same into data to be printed and data to be not printed itself and output the data to be not printed to the outside from the other interface connector. Further, the state of the external device connected to the other interface connector is read and the document data sent from the host devices being the host computers are outputted to the selected printing apparatus suitable for output.



LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

30.06.1998

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

3004440

[Date of registration]

19.11.1999

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

(19)日本国特許庁(JP)

(12)公開特許公報(A)

(11)特許出願公開番号

特開平5-193231

(43)公開日 平成5年(1993)8月3日

(51)Int.Cl. ⁵	識別記号	庁内整理番号	F I	技術表示箇所
B 4 1 J 29/38	Z	8804-2C		
G 0 6 F 3/12	A	8323-5B		
G 0 6 K 17/00	D	7459-5L		

審査請求 未請求 請求項の数2(全 9 頁)

(21)出願番号 特願平4-7437

(22)出願日 平成4年(1992)1月20日

(71)出願人 000001007

キヤノン株式会社

東京都大田区下丸子3丁目30番2号

(72)発明者 井出 宏泰

東京都大田区下丸子3丁目30番2号 キヤ
ノン株式会社内

(74)代理人 弁理士 大塚 康德 (外1名)

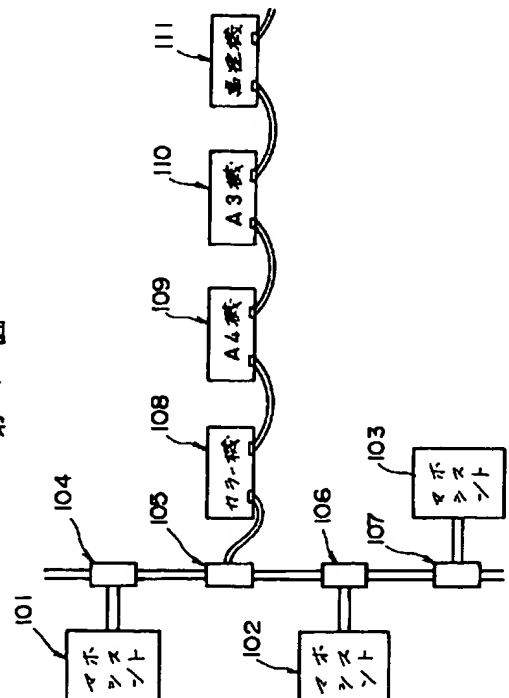
(54)【発明の名称】 印刷システム

(57)【要約】 (修正有)

【目的】 ホストコンピュータ等の上位装置の負担を低減し、印刷装置に簡単な機能を付加するだけで多種の印刷装置を使用可能な印刷システム。

【構成】 複数種類の印刷装置を含み、ホストコンピュータ等の上位装置101、102、103より文字コードや制御コード等からなる文書情報を複数種類の印刷装置の1つに転送して印刷する印刷システムであつて、少なくとも1つの印刷装置が、外部装置とデータの授受を行なうインタフェース手段と、インタフェース手段より入力した文書情報が自ら印刷を実行すべきものか否かを判断する判断手段と、自ら印刷を実行すべきものでないと判断した文書情報を前記インタフェース手段より外部へ出力する出力手段とを備える。インタフェース手段に接続される他の印刷装置の状態を読み取る読取手段を更に備え、出力手段は読み取られた他の印刷装置の基づいて選択的に他の印刷装置へ文書情報を出力する。

図 1 概 略



【特許請求の範囲】

【請求項1】 複数種類の印刷装置を含み、ホストコンピュータ等の上位装置より文字コードや制御コード等からなる文書情報を前記複数種類の印刷装置の1つに転送して印刷する印刷システムであつて、

少なくとも1つの前記印刷装置が、
外部装置とデータの授受を行なうインタフェース手段と、

前記インタフェース手段より入力した前記文書情報が自ら印刷を実行すべきものか否かを判断する判断手段と、

自ら印刷を実行すべきものでないと判断した前記文書情報を前記インタフェース手段より外部へ出力する出力手段とを備えることを特徴とする印刷システム。

【請求項2】 少なくとも1つの前記印刷装置が、前記インタフェース手段に接続される他の印刷装置の状態を読み取る読取手段を更に備え、前記出力手段は読み取られた前記他の印刷装置の基づいて選択的に他の印刷装置へ前記文書情報を出力することを特徴とする請求項1記載の印刷システム。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】本発明は印刷システム、特に複数種類の印刷装置を含み、ホストコンピュータ等の上位装置より文字コードや制御コード等からなる文書情報を各印刷装置に転送して印刷する印刷システムに関するものである。

【0002】

【従来の技術】従来の印刷システムのホストコンピュータと各印刷装置との接続例を図2及び図3に示す。

【0003】図2において、201、202、203、204はホストコンピュータ等の上位装置、205、206、207、208はネットワークインタフェース、209はカラー出力可能な印刷装置、210は最大でA4版が出力可能な印刷装置、211は最大でA3版が出力可能な印刷装置、212は高速印刷装置を示す。また図3において、301、302はホストコンピュータ等の上位装置、303、304ネットワークインタフェース、305はデータ出力先切替のための制御装置、306はカラー出力可能な印刷装置、307は最大でA4版が出力可能な印刷装置、308は最大でA3版が出力可能な印刷装置、309は高速印刷装置を示す。

【0004】図示のように、従来ホストコンピュータ等の上位装置と印刷装置とを接続する場合、(1)文字コードや制御コード等からなる文書情報が各ホストコンピュータ等の上位装置を経由して送られる構成(図2)、もしくは、(2)ホストコンピュータ等の上位装置と印刷装置との間に、上位装置側から送信された文字コードや制御コード等からなる文書情報の出力先を切り換えるための制御装置を別途に設けて、各印刷装置への出力を

上記制御装置により切り換える構成(図3)が使用される。

【0005】

【発明が解決しようとしている課題】しかしながら、上記(1)の従来例では、文字コードや制御コード等からなる文書情報が各上位装置を経由して送られているので、各上位装置に負担がかかる。また、(2)の従来例では、出力先を切り換えるための制御装置を別途に設けなければならない。

【0006】本発明は、前記従来の欠点を除去し、ホストコンピュータ等の上位装置の負担を低減し、印刷装置に簡単な機能を付加するだけで多種の印刷装置を使用可能な印刷システムを提供する。

【0007】

【課題を解決するための手段】この課題を解決するために、本発明の印刷システムは、複数種類の印刷装置を含み、ホストコンピュータ等の上位装置より文字コードや制御コード等からなる文書情報を前記複数種類の印刷装置の1つに転送して印刷する印刷システムであつて、少なくとも1つの前記印刷装置が、外部装置とデータの授受を行なうインタフェース手段と、前記インタフェース手段より入力した前記文書情報が自ら印刷を実行すべきものか否かを判断する判断手段と、自ら印刷を実行すべきものでないと判断した前記文書情報を前記インタフェース手段より外部へ出力する出力手段とを備える。少なくとも1つの前記印刷装置が、前記インタフェース手段に接続される他の印刷装置の状態を読み取る読取手段を更に備え、前記出力手段は読み取られた前記他の印刷装置の基づいて選択的に他の印刷装置へ前記文書情報を出力する。

【0008】

【実施例】図1は本実施例の印刷システムの構成例を示す図である。同図において、101、102、103はホストコンピュータ等の上位装置、104、105、106、107はネットワークインタフェース装置、108はカラー出力可能な印刷装置、109は最大A4版まで出力可能な印刷装置、110は最大A3版まで出力可能な印刷装置、111は高速印刷装置である。

【0009】各印刷装置は、ホストコンピュータ等の上位装置からの文字コードや制御コード等からなる文書情報を、外部装置とデータ授受を行うための複数個有るインタフェースコネクタのうちの1つから、インタフェースネットワーク等を通じて受信する。その受信された文書情報を判断し、自ら印刷するものとししないものに分類し、印刷しないものについては他方のインタフェースコネクタより外部へ出力する。さらに、他方のインタフェースコネクタに接続された外部装置の状態を読み取り、ホストコンピュータ等の上位装置より送られて来た文書情報を出力に適した印刷装置を選出して出力するように動作する。

【0010】例えば、上位装置より送られて来た文書情報がカラーの情報を含むものであつた場合、文書情報を受け取った印刷装置が自らカラー印刷可能であれば自ら印刷し、そうでなければ他の適した印刷装置にデータを転送する。また、送られて来た文書情報がA3版のものであつた場合、自ら印刷出来なければA3版の出力が可能な印刷装置に転送する。また、送られて来た文書情報の量が膨大である場合は、高速機に転送するといった具合である。

【0011】但し、送られてきた文書情報を出力するの10に最も適していると判断される印刷装置が作業中であつたり、何らかのトラブルが発生している場合は、最適印刷装置が印刷可能となるまでの間は出力可能な他の印刷装置によつて出力を行なう。例えば、送られて来た文書情報がA4版でかつ膨大な量であるが、A4出力可能な高速印刷装置が作業中であつた場合、自らがA4版の出力が可能であれば自らが印刷したり、A3機でA4カセットを選んで印刷したりする。さらに、文書情報の中に出力するプリンタを指定するコマンドを設け、このコマンドが来たときは、印刷装置が判断するのではなく、指20定されたコマンドに従つて出力するようにすることも出来るのは言うまでもない。

【0012】次に、ある印刷装置から特定の他の印刷装置への文書情報の送信について、図8を参照しながら以下にのべる。

【0013】図8において、A、B、Cは印刷装置である。印刷装置Aは、ホストからの印刷データを受信した時点で、自分以外に印刷装置がつながっているかどうかを判断し、印刷装置Bが存在するので印刷装置Bに対してステータス情報（カラー機か否か、出力可能な紙サイズ、出力スピード等）を要求する。印刷装置Aからの要求に対して、印刷装置Bは印刷装置Aと自分以外に印刷装置が接続されているかどうかを判断し、印刷装置Cが存在するので印刷装置Cに対してステータス情報を要求する。印刷装置Cは自分と印刷装置B以外に接続されるプリンタが無いと判断すると、印刷装置Bに自分のステータスを送る。印刷装置Bは受信したステータス情報と自分のステータス情報を印刷装置Aに送る。

【0014】ホストに最も近く接続される印刷装置Aが、これらのステータス情報に基づいて判断し、自分は印刷せず30に他の特定の印刷装置で印刷すると判断すれば、ホストから送られるデータにこの特定の印刷装置を指定する情報を付加し、更に下流へとデータを流す。これらのステータス情報のやりとり及びそれらにまつわる処理は、ホストから印刷データが受信された時点以外にも、各プリンタの電源投入時もしくはある一定の間隔で行って、更新記憶するようにしても良い。

【0015】ここで、印刷装置が文書情報を判断する方法について例を挙げる。

【0016】図5は印刷装置が文書情報を判断する方法 50

の一例として、印刷装置にデータを送信する際、印刷装置が文書データを判断するための情報を送信データの先頭に付け加える方法について示したものである。

【0017】同図において、501は印刷する文書データがモノクロかカラーかを指定するコマンド、502は印刷用紙のサイズを指定するコマンド、503は印刷枚数の情報である。例えば、印刷するデータがモノクロかカラーかを指定するコマンド501がカラーを指定していれば、カラー印刷機から出力する。また、印刷するデータがモノクロかカラーかを指定するコマンド501がモノクロを指定し、かつ印刷用紙サイズ指定コマンド502がA3であればA3機より出力する。また、印刷するデータがモノクロかカラーかを指定するコマンド501がモノクロを指定し、かつ印刷用紙サイズ指定コマンド502がA4であり、印刷枚数情報503が膨大な数字であつた場合には、高速機から出力するといった具合である。もちろん印刷枚数が何枚以上であれば高速機で出力するか等、各コマンドをどういった基準で判断するかは任意に設定出来るものとする。

【0018】

【他の実施例】他の実施例の印刷システムの構成を図4に示す。

【0019】同図において、401、402、403はホストコンピュータ等の上位装置、404、405、406、407はネットワークインタフェース、408はカラー出力可能な印刷装置、409は最大A4版まで出力可能な印刷装置、410は最大A3版まで出力可能な印刷装置、411は高速機、412はデータを格納するためのデータバッファである。

【0020】各印刷装置は、ホストコンピュータ等の上位装置からの文字コードや制御コード等からなる文書情報を、外部装置とデータ授受を行うための複数個有るインタフェースコネクタのうちの1つから、インタフェースネットワーク等を通じて受信する。その受信された文書情報を判断し、自ら印刷するものとししないものに分類し、印刷しないものについては他方のインタフェースコネクタより外部へ出力する。さらに、他方のインタフェースコネクタに接続された外部装置の状態を読み取り、ホストコンピュータ等の上位装置より送られて来た文書情報を出力に適した印刷装置を選出して出力するように動作する。

【0021】しかし、どの印刷装置も作業中で出力できない場合等には、文書データをハードディスク装置や光磁気ディスク装置などのデータバッファに一時格納し、出力に好適な印刷機の作業が終り次第、文書データをデータバッファ内より取り出して印刷を開始する。また、送られて来た文書データの量が膨大であつた場合には、データバッファにこれをまとめて格納し、データバッファから所定の印刷装置へ文書データを送ることによつて、ホストマシンが印刷のための作業に束縛される時間

を軽減することも可能である。

【0022】図6に本実施例の印刷システムで使用される印刷装置の簡単な構成例を、図7にそのインタフェース制御手順を示すフローチャートを示す。

【0023】図6で、61は印刷装置全体を制御する演算・制御用のCPU、62はCPU61の制御プログラムを格納するROMであり、本機の仕様（モノクロ／カラー、用紙サイズ、許容枚数等）記憶部62aを含む。63は補助記憶用のRAMであり、少なくとも1つの他機の仕様及び状態（使用可／不可等）記憶部63aを含む。64は外部装置と接続される2つのコネクタ64a、64bの選択を制御する選択部、65は印刷出力を制御する出力制御部、66は実際にプリントを行うプリント機構部である。出力制御部65及びプリント機構部66は、受信した文書情報に付加されたコマンドと仕様記憶部62aに記憶された仕様とが一致しない、あるいは印刷不可能等の場合は、動作しない。各印刷装置はコネクタ64a、64bを介して仕様記憶部62aに記憶された自装置の仕様および実行状態を他装置に送信すると共に、受信した他装置の使用および実行状態を記憶部63aに記憶する。

【0024】図7では、まずステップS71で外部装置からの文書情報先頭のコマンドを待つ。ステップS72で、このコマンドと本機仕様記憶部62aの内容を比較し、一致し且つ本機が動作可能であれば、ステップS73で印刷処理を実行する。仕様が一致しない場合は、ステップS74でそのコマンドの印刷仕様を有する他機が動作可能か否かを他機仕様・状態記憶部63aでチェックし、可能であればステップS75で最適機へ文書情報を出力する。他機で可能でなければ本機で可能であるか否かをチェックし、可能であればステップS77でコマンドに対応した印刷処理を実行する。可能でなければ、例えば図4の実施例では、ステップS78でデータバッファ412に文書情報を一時記憶し、所定機が動作可能になつてから再送する。あるいは図1の実施例では、ステップS78の所で文書情報を出力したホストに対して印刷不可を応答する。

【0025】本実施例の構成によれば、文字情報や制御コード等からなる文書情報をホストコンピュータ等の上位装置より入力して印刷する印刷装置が、外部装置とデータ授受を行うためのインタフェースコネクタを複数個有し、上記一方のインタフェースコネクタより入力した文書情報を判断し、自ら印刷するものとししないものとに分類し、印刷しないものについては他方のインタフェースコネクタより外部へ出力する機能、さらに上記他方のインタフェースコネクタに接続された外部装置の状態を入力し、判断する機能を印刷装置に持たせることによつて、以下に示すような効果が有る。

【0026】1. どの印刷装置によつて出力するのかという情報を必ずしも送らなくとも、印刷装置が送られて

来たデータを判断するので、文書情報を印刷装置に出力する際、出力先を操作者が切り換える必要が無い。

【0027】2. 印刷装置を2台、3台、4台、…と増やした場合でも印刷装置の接続を切り換える為の制御装置が別途にいらぬ。

【0028】3. 接続される印刷装置の列中にデータバッファを設ける事によつて、大量の文書情報を出力しなければならない場合や、印刷装置が作業中である場合など、データバッファ内に一旦文書データを格納し、ここから印刷装置へデータを送ることによつて、ホストマシンが印刷作業によつて束縛される時間を軽減することが出来る。

【0029】尚、本発明は、複数の機器から構成されるシステムに適用しても、1つの機器から成る装置に適用しても良い。また、本発明はシステム或は装置にプログラムを供給することによつて達成される場合にも適用できることは言うまでもない。

【0030】

【発明の効果】本発明により、ホストコンピュータ等の上位装置の負担を低減し、印刷装置に簡単な機能を付加するだけで多種の印刷装置を使用可能な印刷システムを提供できる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本実施例の印刷システムの構成例を示す図である。

【図2】1台のホストマシンに1台の印刷装置を接続した従来例を示す図である。

【図3】1台のホストマシンから制御装置を介して複数の印刷装置を接続した従来例を示す図である。

【図4】他の実施例の印刷システムの構成例を示す図である。

【図5】文書情報の構成例を示す図である

【図6】本印刷システムで使用される印刷装置を構成例を示す図である。

【図7】図6の印刷装置にインタフェース処理の手順を示すフローチャートである。

【図8】他の印刷装置への文書情報の送信例を示す図である。

【符号の説明】

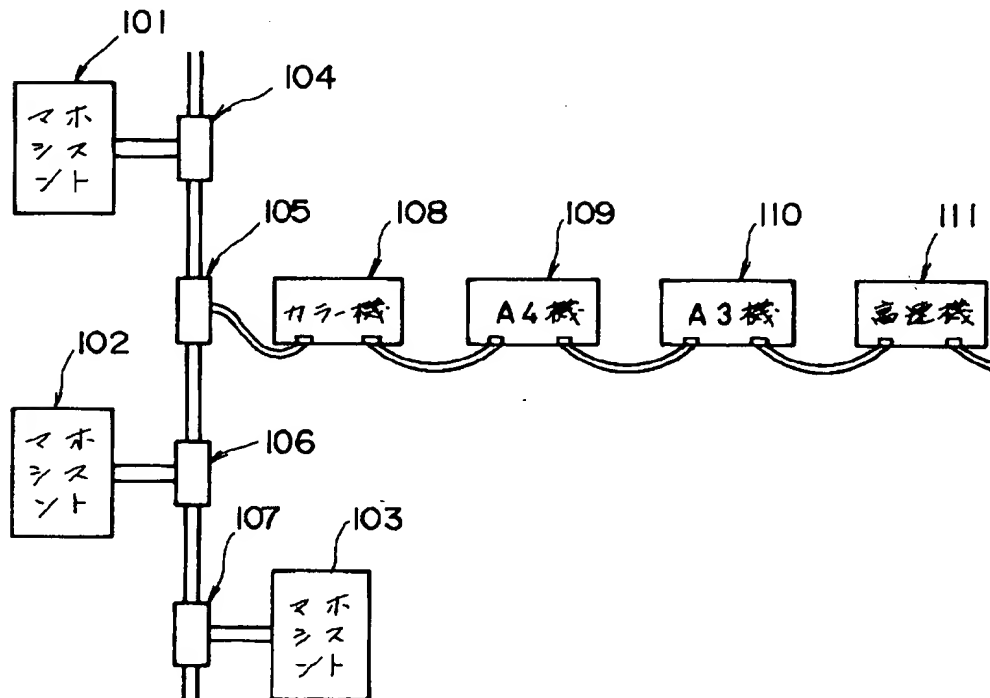
101, 102, 103…ホストコンピュータ等の上位装置、104, 105, 106, 107…ネットワークインタフェース装置、108…カラー出力可能な印刷装置、109…最大A4版までの出力可能な印刷装置、110…最大A3版までの出力可能な印刷装置、111…高速印刷装置、201, 202, 203, 204…ホストコンピュータ等の上位装置、205, 206, 207, 208…ネットワークインタフェース装置、209…カラー出力可能な印刷装置、210…最大A4版までの出力可能な印刷装置、211…最大A3版までの出力可能な印刷装置、212…高速印刷装置、301, 302…

7
 ホストコンピュータ等の上位装置、304、304…ネットワークインタフェース装置、305…データ出力先切替の為の制御装置、306…カラー出力可能な印刷装置、307…最大A4版まで出力可能な印刷装置、308…最大A3版まで出力可能な印刷装置、309…高速印刷装置、401、402、403…ホストコンピュータ等の上位装置、405、405、406、407…ネットワークインタフェース装置、408…カラー出力可能な印刷装置、409…最大A4版まで出力可能な印刷

8
 装置、410…最大A3版まで印刷可能な印刷装置、411…高速印刷装置、412…データバッファ、501…印刷する文書データがモノクロかカラーかを指定するコマンド、502…印刷用紙サイズ指定コマンド、503…印刷枚数情報、61…CPU、62…ROM、62a…本機仕様記憶部、63…RAM、63a…他機仕様・状態記憶部、64…選択部、64a、64b…コネクタ、65…出力制御部、66…プリント機構部

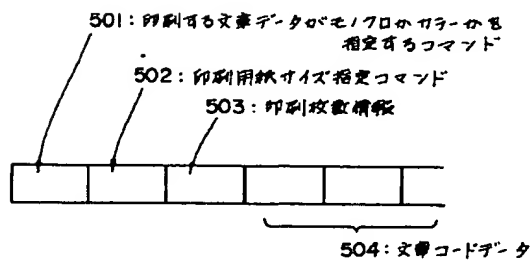
【図1】

第 1 図



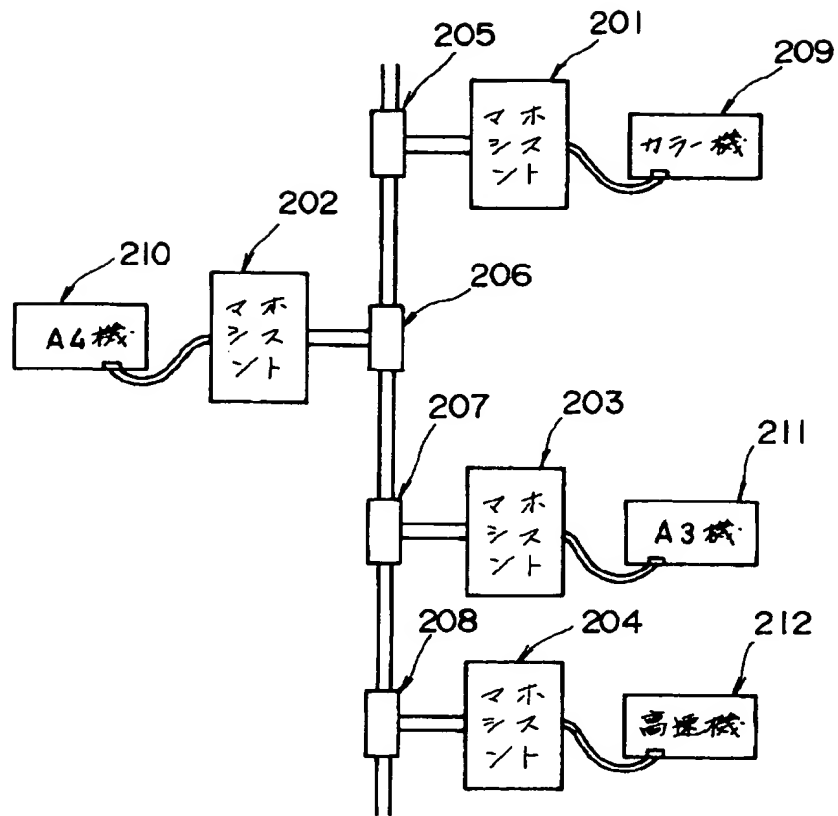
【図5】

第 5 図



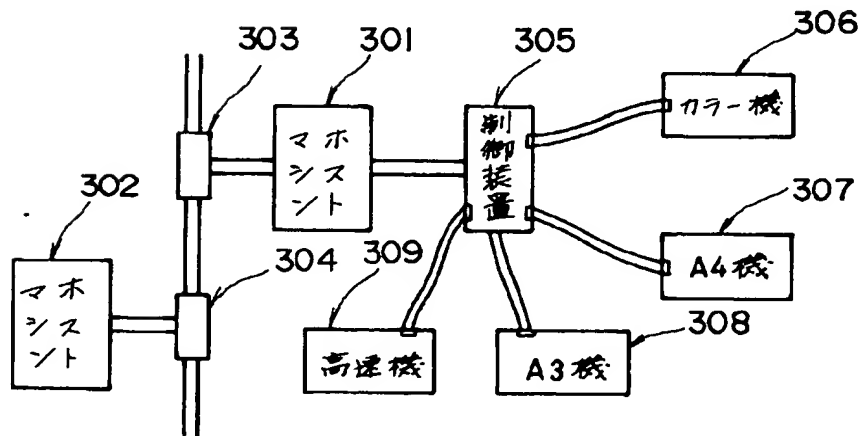
【図2】

第 2 図



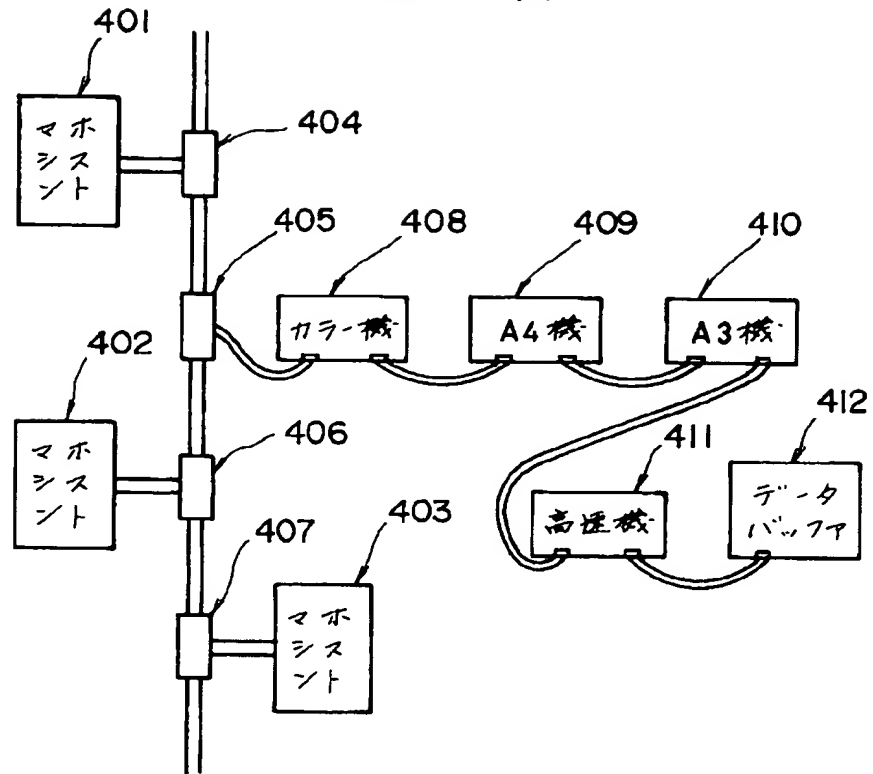
【図3】

第 3 図



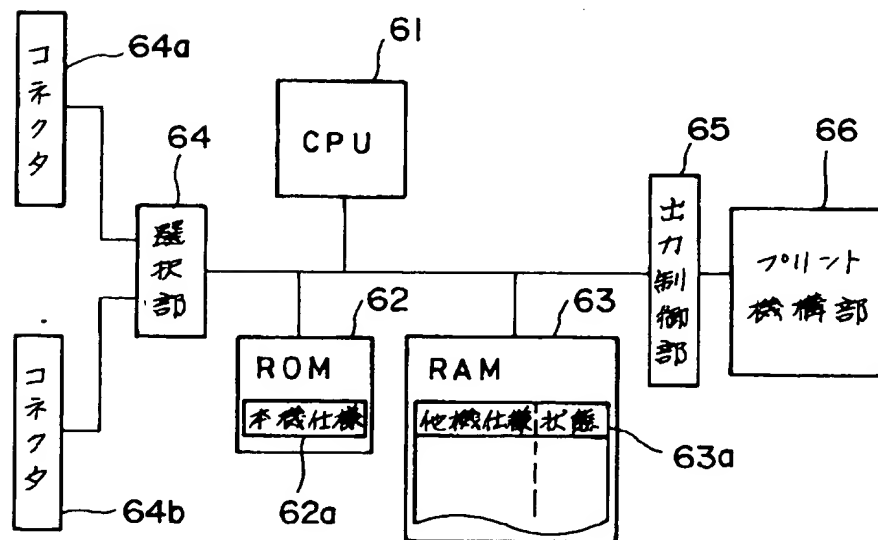
【図4】

第 4 図

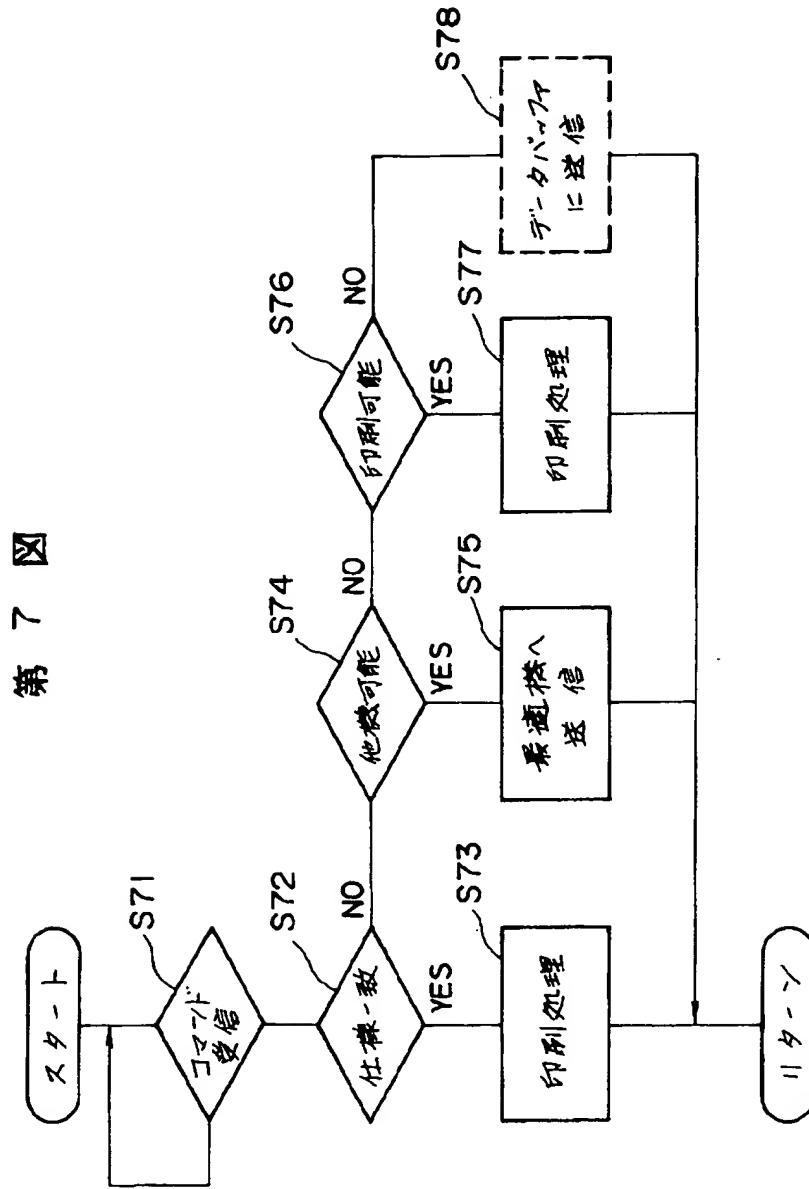


【図6】

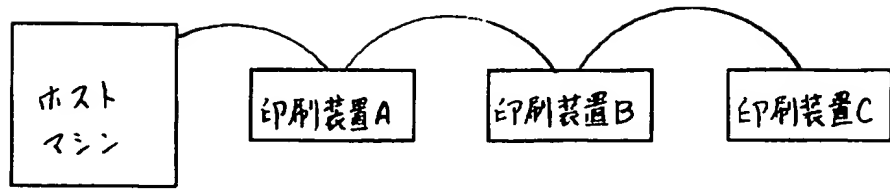
第 6 図



【図7】



【図8】



第 8 図

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第4区分

【発行日】平成11年(1999)8月3日

【公開番号】特開平5-193231

【公開日】平成5年(1993)8月3日

【年通号数】公開特許公報5-1933

【出願番号】特願平4-7437

【国際特許分類第6版】

B41J 29/38

G06F 3/12

G06K 17/00

【FI】

B41J 29/38 Z

G06F 3/12 A

G06K 17/00 D

【手続補正書】

【提出日】平成10年6月30日

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】発明の名称

【補正方法】変更

【補正内容】

【発明の名称】 印刷システム、印刷方法及びその装置

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】 入力されたデータに基づき印刷を実行すべきか否かを判別する判別手段と、

前記判別手段により印刷を実行すべきではない判別された場合、入力されたデータを他の印刷装置へ出力する出力手段とを有することを特徴とする印刷装置。

【請求項2】 前記判別手段により印刷を実行すべきと判別された場合、入力されたデータに基づき印刷を行う印刷手段を有することを特徴とする請求項1記載の印刷装置。

【請求項3】 前記判別手段は、入力されたデータと印刷装置の色処理能力とに基づき判別することを特徴とする請求項1記載の印刷装置。

【請求項4】 前記判別手段は、入力されたデータと印刷装置の紙サイズとに基づき判別することを特徴とする請求項1記載の印刷装置。

【請求項5】 前記判別手段は、入力されたデータに基づいて印刷される量に基づき判別することを特徴とする請求項1記載の印刷装置。

【請求項6】 入力されたデータに基づき印刷を実行す

べきか否かを判別する判別ステップと、

前記判別ステップにより印刷を実行すべきではない判別された場合、入力されたデータを他の印刷装置へ出力する出力ステップとを有することを特徴とする印刷方法。

【請求項7】 前記判別ステップにより印刷を実行すべきと判別された場合、入力されたデータに基づき印刷を行う印刷ステップを有することを特徴とする請求項6記載の印刷方法。

【請求項8】 前記判別ステップでは、入力されたデータと印刷装置の色処理能力とに基づき判別することを特徴とする請求項6記載の印刷方法。

【請求項9】 前記判別ステップでは、入力されたデータと印刷装置の紙サイズとに基づき判別することを特徴とする請求項6記載の印刷方法。

【請求項10】 前記判別ステップでは、入力されたデータに基づいて印刷される量に基づき判別することを特徴とする請求項6記載の印刷方法。

【請求項11】 ホストコンピュータと第1の印刷装置と第2の印刷装置とからなる印刷システムであって、前記第1の印刷装置は、

ホストコンピュータより入力されたデータに基づき印刷を実行すべきか否かを判別する判別手段と、

前記判別手段により印刷を実行すべきではない判別された場合、ホストコンピュータより入力されたデータを第2の印刷装置へ出力する出力手段とを有することを特徴とする印刷システム。

【請求項12】 第1の印刷装置と第2の印刷装置と第3の印刷装置とからなる印刷システムであって、前記第2の印刷装置は、

第1の印刷装置より入力されたデータに基づき印刷を実行すべきか否かを判別する判別手段と、

前記判別手段により印刷を実行すべきではない判別され

3

た場合、第1の印刷装置より入力されたデータを第3の印刷装置へ出力する出力手段とを有することを特徴とする印刷システム。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0001

【補正方法】変更

【補正内容】

【0001】

【産業上の利用分野】本発明は印刷システム、特に複数種類の印刷装置を含み、ホストコンピュータ等の上位装置より文字コードや制御コード等からなる文書情報を各印刷装置に転送して印刷する印刷システム、印刷方法及びその装置に関するものである。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正内容】

【0006】本発明は、前記従来の欠点を除去し、ホストコンピュータ等の上位装置の負担を軽減し、印刷装置に簡単な機能を付加するだけで多種の印刷装置を使用可能な印刷システム、印刷方法及びその装置を提供する。

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正内容】

【0007】

【課題を解決するための手段】この課題を解決するために、本発明の印刷装置は、入力されたデータに基づき印刷を実行すべきか否かを判別する判別手段と、前記判別手段により印刷を実行すべきではない判別された場合、入力されたデータを他の印刷装置へ出力する出力手段とを有することを特徴とする。更に、前記判別手段により印刷を実行すべきと判別された場合、入力されたデータに基づき印刷を行う印刷手段を有する。ここで、前記判別手段は、入力されたデータと印刷装置の色処理能力とに基づき判別する。また、前記判別手段は、入力されたデータと印刷装置の紙サイズとに基づき判別する。ま

4

た、前記判別手段は、入力されたデータに基づいて印刷される量に基づき判別する。又、本発明の印刷方法は、入力されたデータに基づき印刷を実行すべきか否かを判別する判別ステップと、前記判別ステップにより印刷を実行すべきではない判別された場合、入力されたデータを他の印刷装置へ出力する出力ステップとを有することを特徴とする。更に、前記判別ステップにより印刷を実行すべきと判別された場合、入力されたデータに基づき印刷を行う印刷ステップを有する。ここで、前記判別ステップは、入力されたデータと印刷装置の色処理能力とに基づき判別する。また、前記判別ステップは、入力されたデータと印刷装置の紙サイズとに基づき判別する。また、前記判別ステップは、入力されたデータに基づいて印刷される量に基づき判別する。又、本発明の印刷システムは、ホストコンピュータと第1の印刷装置と第2の印刷装置とからなる印刷システムであって、前記第1の印刷装置は、ホストコンピュータより入力されたデータに基づき印刷を実行すべきか否かを判別する判別手段と、前記判別手段により印刷を実行すべきではない判別された場合、ホストコンピュータより入力されたデータを第2の印刷装置へ出力する出力手段とを有することを特徴とする。又、第1の印刷装置と第2の印刷装置と第3の印刷装置からなる印刷システムであって、前記第2の印刷装置は、第1の印刷装置より入力されたデータに基づき印刷を実行すべきか否かを判別する判別手段と、前記判別手段により印刷を実行すべきではない判別された場合、第1の印刷装置より入力されたデータを第3の印刷装置へ出力する出力手段とを有することを特徴とする。

【手続補正6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0030

【補正方法】変更

【補正内容】

【0030】

【発明の効果】本発明により、ホストコンピュータ等の上位装置の負担を軽減し、印刷装置に簡単な機能を付加するだけで多種の印刷装置を使用可能な印刷システム、印刷方法及びその装置を提供できる。